

(1) 事業名称等

事業名称：気仙沼市内湾地区の国登録文化財群復旧プロジェクト

～市民団体の連携で繋ぐ、復旧・活用の支援ネットワーク～

実施団体：一般社団法人 気仙沼風待ち復興検討会

事業経費：1,500,000 円

(2) 事業の目的

- 東日本大震災において気仙沼市内湾地区の国登録有形文化財群5棟が大被害を受けたが、SOC 基金による支援や、平成 24 年度の本事業採択により応急修理が完了した。
- 当会により、所有者の意向を踏まえて保存活用計画を策定し、地区内外の関係者と復旧・活用に向けた道筋を共有した結果、被害を受けながらも修理をして残したいとする歴史的建造物所有者が現れている。
- 一方で、本格復旧・活用に向けてはさらなる支援が必要であり、文化財建造物の復旧は地域を確かに元気づけていると思われるが、いまだ関心は高いとは言えない状況である。
- 平成 25 年度は、近隣団体間の連携によりモニターツアーを持続的ツアーに発展させ、また広域の団体の連携により東京都等において文化財復旧状況を伝え、さらなる支援の必要性を訴える以下の取り組みを行う。
 - ・平成 24 年度に引き続き、登録文化財建造物群の復旧工事の連絡調整を行う。
 - ・平成 24 年度実施のモニターツアー（観光専門家に依頼）の成果を踏まえ、一関と気仙沼を結ぶ東西街道沿道の市民団体と連携し、沿道の文化財建造物群を巡る一般向け試験ツアーを実施し、さらに持続的なツアー実施に向けた体制づくりを行う。
 - ・東京都等で歴史文化に係る活動を行う団体との連携により、被災地の文化財建造物等の現状と継続的な支援の必要性をまとめたパネル（宮城県から貸与予定）の巡回展を開催し、募金等の支援を呼びかけるとともに、協力団体等と相互支援の可能性について検討する。

(3) 事業活動の内容

1) 近隣住民団体の連携による歴史文化ツアーの実施

①「東西街道連携協議会」の設立 / 持続的ツアー実施の体制づくり

一関と気仙沼を結ぶ歴史的交流のある東西街道沿いの歴史文化資源の活用に取り組む住民団体を主体とした「東西街道連携協議会」を設立し、相互に連携しモニターツアーを実施するためのツールや体制などについて協議を行った。

【構成団体】

○住民団体

世嬉の一酒造株式会社（一関）、千厩まちづくり株式会社（千厩）、蔵サポーターの会（千厩）、一般社団法人気仙沼風待ち復興検討会（気仙沼）、気仙沼観光コンベンション協会

○オブザーバー（予定含む）

一関市商業観光課、一関市千厩支所産業経済課、気仙沼市教育委員会生涯学習課、気仙沼市観光課、北海道大学観光学高等研究センター

【第1回 東西街道連携協議会】

日時：平成25年11月7日（木）15：30～

場所：気仙沼中央公民館 第1会議室

内容：○経過説明

○設立の趣旨

【第2回 東西街道連携協議会】

日時：平成25年12月4日（水）15：00～

場所：気仙沼中央公民館 第5会議室

内容：○ツアーの目的、前回合意事項の確認

○ツアー内容及び手法の検討

- ・ツアー内容の検討
- ・当面、定期的を実施するツアー
- ・当面、目指す体制
- ・ツアーに必要なツール
- ・ツアーの料金と分配

②一般公募による本格的ツアーの実施（9/6 宮城大会第一部と連携し開催）

平成24年度に少人数により実施した東西街道を巡る試験ツアーについて、今年度は一般から参加者を公募し本格的に実施した。

※参加費は2日間を通し5,000円

日時：平成25年9月7日（土）

参加者：41名

工程：

<気仙沼>国登録有形文化財群の見学（所有者の協力）

男山本店店舗にて応急修理映像の上映会

日時：平成25年9月8日（日）

参加者：32名

工程：

<気仙沼>気仙沼市魚市場見学（オプション）

高台から内湾地区を一望

気仙沼街道沿いの町並みの見学（観光コンベンション協会の協力）

<千厩>旧横屋酒造・佐藤家住宅の見学（蔵サポーターの会、千厩まちづくり株式会社）

の協力)

旧佐藤家住宅二階座敷にて地元ガイドと千厩特製ランチ

せんまや街角資料館、白石家門（移築）、日野家庭園の見学

<一 関>世嬉の一酒造の見学（店員ガイドの協力）

一関名物もち御膳や地ビールの食事（オプション）

2) 全国の市民団体との連携による被災文化遺産の被災と復旧を伝える巡回パネル展示

①パネルの作成

風待ち地区に留まらず、宮城県内の被災地の文化財建造物等の現状と支援の必要性をまとめたパネルを作成した。

作成にあたっては、筑波大学と東京藝術大学の学生に取材を依頼し、特に地元の住民の声（文化遺産復旧が地域を元気づけている）を中心に取材を行った。

取材日程：平成 25 年 7 月 13 日（土）～15 日（月祝）

取材対象：

- ①女川町獅子振り（女川町）
- ②雄勝法印神楽（雄勝町）
- ③お天王さん祭り（山元町）
- ④海津見神社の毘沙門天立像（東松島市）
- ⑤風待ち国登録有形文化財群（気仙沼市）
- ⑥尾形家住宅（気仙沼市）
- ⑦旧ハリストス正教会（石巻市）
- ⑧観慶丸商店（石巻市）
- ⑨天雄寺（石巻市）

②全国巡回展の実施

東京都及び札幌市において、趣旨に賛同する団体と連携し、各団体の活動拠点において、被災地の文化財建造物等の現状と支援の必要性をまとめたパネルを巡回展示した。

当初都内 3 か所と札幌市の実施予定が、全国から展示希望が集まり 8 か所実施となった（予定含む）。

①谷中（旧平櫛田中邸）平成 25 年 10 月 5 日（土）～10 日（木）※芸工展の一環

協力：NPO 法人たいとう歴史都市研究会

②神楽坂（森戸記念館）平成 25 年 10 月 19 日（土）～25 日（金）※神楽坂まちとびフェスタの一環

協力：NPO 法人粋なまちづくり倶楽部

③駒場（旧前田侯爵邸洋館）平成 10 月 26 日（土）～11 月 4 日（月祝）※文化財ウィークの一環

④気仙沼（イオン気仙沼店）平成 25 年 11 月 15 日（金）～17 日（日）

⑤札幌（チカホ）平成26年2月19日（水）～25日（火）

協力：NPO法人歴史的地域資産研究機構

⑥蒲原（旧五十嵐歯科医院）平成26年3月1日（土）～23日（日）

協力：旧五十嵐邸を考える会

⑦小樽（小樽市総合博物館（重文）） ※予定

⑧函館（函館市地域交流まちづくりセンター） ※予定

3) 関連団体との協力による国登録文化財群の復旧・活用促進

あわせて、モニターツアーやパネル展において募金のためのポスター等の広報素材を作成した。

歴史的建造物の積極的な保存活用や修復支援に向けて、市民向け説明会の開催、所有者向けの資料作成等を行い、意識啓発を図る予定である。

- ・募金活動の実施（札幌チカホ、旧五十嵐歯科医院（静岡）、風待ちの会（佐渡）、都内各団体）
- ・募金ポスターや絵はがきの作成
- ・市民向け報告会の開催（予定）
- ・まちづくり団体と連携した文化財復旧と周辺市街地再建の検討

(4) 事業の成果

○保存活用計画に基づく国登録有形文化財の復旧が促進された。

⇒小野健商店土蔵、三事堂ささ木店舗の復旧（予定）

⇒角星店舗の復旧および周辺市街地の一体的整備の検討

○「東西街道連携協議会」が設立され、ツアー実施体制が整備された。

○パネル巡回展を契機とし全国の住民団体とのネットワークが形成された。

○風待ちの国登録文化財群や文化遺産への関心が醸成された。

○風待ちの活動に対する支援の増進がみられた（募金総額：約8万円）

(5) 事業実施後の課題

○活動の拡大に伴う事務局機能の充実が遅れた。

⇒活動内容に伴う会の体制充実、事務局整備が当面の課題である。

(6) 今後の展開

○保存活用計画に基づく復旧・活用を推進する（土地区画整理事業の進捗に基づき工程表を変更）。

○地域の関心の高まりに応えた復興に寄与する活用方策を検討・実践する。

○これまでの取り組みで生み出された住民団体ネットワークを活用する。